

もくじ

2 特集

令和7年度 税制改正のポイントと年収の壁

7 クローズアップ

「新観光大使インタビュー

浪曲で地元を盛り上げます!」

加古川観光大使・浪曲師 京山 幸太 さん

9 エッセイ

「感謝の想いをつなぐ

“VALTIX HIRAOKA” が目指す地域の絆」

クリイト株式会社 西野 純平 さん

11 会議所のうごき

第25期1号議員決まる 他

13 団体だより

女性会・異業種交流会・青年部

16 会議所からのお知らせ

印刷物入札 他

16 会議所カレンダー

今月の“こんな日”



今月の表紙

『(株)ライフクリエイト(じゅうの森)』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 えいと じゅん
永戸 潤

◆所在地

加古川市米田町船頭5 2 3 - 5

◆ホームページ



◆表紙写真

- ①“じゅうの森”のシンボルツリーの隣にて撮影（写真中央が永戸さん）。
- ②本業の保険事業以外でも地域の方々をサポートしています。
- ③受付でスタッフさんが温かく迎えてくれます！
- ④スペース内は森をイメージした落ち着いた空間が広がっています。
- ⑤休憩・交流スペースもあるので、仕事や勉強に疲れたらリラックス！
- ⑥永戸社長のお気に入りのバイク。

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



地域に根差した保険代理店が、新しい挑戦としてワーキングスペース「じゅうの森」を今年3月にオープンしました。代表取締役の永戸さんは大学で「これからは専門知識・ノウハウを売る仕事求められる時代だ」と教わり、保険業界へ27歳で独立し、30歳で法人化。以来20年にわたり、顔の見える地域密着型の保険代理店として事業を展開してきました。ワーキングスペースの開設を考えた理由の1つは、コロナ禍でオンライン会議や在宅ワークが浸透し、「ワークライフバランス」という考え方が日本でも広がりました。新しい価値観が定着する中、フリーランスの増加も見据えて、準備を進めてきました。

他にも「加古川駅周辺にはワーキングスペースがいくつかありますが、この地域にはないんです。学生が勉強するスペースや図書館も混雑しているという声もあり、ビジネスや勉強、趣味でも「じゅうの森」に時間を使ってほしいという想いを込めて始めました」と永戸さんは語ります。

「じゅうの森」の室内は森をイメージして作られ、木材の質感や観葉植物が、空間に暖かな印象を与え、中心部の木製のシンボルツリーが訪れる人を迎えてくれます。

特徴的なのは本棚の蔵書。学生のための参考書や教科書、大学のパンフレットの他にも、住宅関連のクロス見本表やカーデイーラーのカタログ、美容業界の資料など専門性の高い資料も揃っています。「誰かにとっては当たり前の情報でも、別の人にとっては貴重な情報源になります。多様な書籍を置くことで、偶然的な出会いや発見を促したい」と説明されました。（本やパンフレット、カタログなどは寄贈・買い取り等も行っていきます）

設備面ではWi-Fi・電源はもちろん、コピー機や個人ロッカーも完備。コーヒーや緑茶などのドリンクは無料で提供しています。また、森の中の芝生をイメージした休憩・交流スペースも用意され、リフレッシュしながらコミュニケーションを取れる場となっています。

料金体系は利用者のニーズに合わせて設計されていて、時間単位で利用できるドロッピングプランは1時間500円、2時間1,000円、3時間以上は1日使い放題で1,500円（学生はそれぞれ300円、600円、900円）。定額使い放題プランも用意されています。

今後は郵便物対応などオフィス機能を充実させ、スタートアップやフリーランスの活動拠点としても利便性を高める計画です。また、2階スペースを「サイレントスペース」として、集中して仕事・勉強等ができるスペースや商談・会議室としても整備していきたいとのこと。

永戸さんは「地域に根差す企業として、『人と人』・『人と企業』を繋ぐ場所を創っていきたい」と抱負を語ります。多世代が集うコミュニティスペースとして、地域の新たな交流拠点となることを期待されています。